



概要

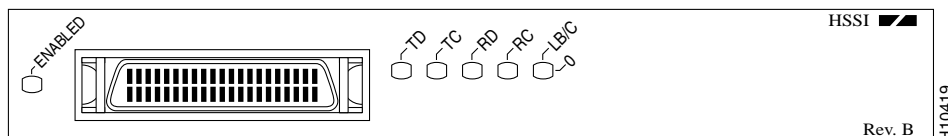
この章では、PA-H (Rev. B) Port Adapter の概要を説明します。内容は、次のとおりです。

- [ポートアダプタの概要 \(p.1-2\)](#)
- [インターフェイスの仕様 \(p.1-3\)](#)
- [LED \(p.1-4\)](#)
- [ケーブル、コネクタ、およびピン割り当て \(p.1-5\)](#)
- [サポート対象プラットフォームでのポートアダプタ スロットの位置 \(p.1-7\)](#)
- [インターフェイスアドレスの識別 \(p.1-16\)](#)

ポートアダプタの概要

PA-H シングルポート High-Speed Serial Interface (HSSI) Port Adapter (図 1-1 を参照) は、高速シリアル インターフェイスを 1 つ提供します。PA-H 上のインターフェイスは、Data Terminal Equipment (DTE; データ端末装置) デバイスとみなされます (ポートアダプタにはハンドルが付いていますが、このマニュアルの図では、ポートアダプタの前面プレートがよくわかるように、このハンドルを省略している場合があります)。

図 1-1 PA-H Port Adapter — 前面プレート



HSSI ネットワーク インターフェイスはモジュラポートアダプタ上に存在し、ルータまたはスイッチ上の高速バスと外部ネットワークの間を直接接続します。



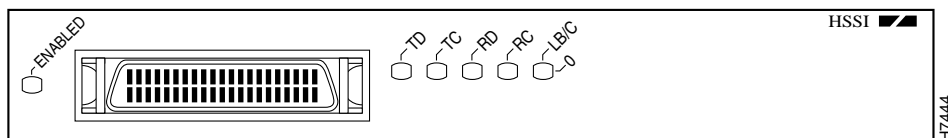
(注)

Catalyst RSM/VIP2、Catalyst 6000 ファミリー FlexWAN モジュール、VIP、および Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリア カードは、Online Insertion and Removal (OIR; 活性挿抜) に対応していますが、個々のポートアダプタは活性挿抜に対応していません。ポートアダプタを交換するには、最初にシャーシから Catalyst RSM/VIP2、Catalyst 6000 ファミリー FlexWAN モジュール、VIP、および Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリア カードを取り外し、次に必要なポートアダプタを取り付けます。

Cisco 7100 シリーズ ルータ、Cisco 7200 シリーズ ルータ、Cisco 7200 VXR ルータ、Cisco 7201 ルータ、Cisco uBR7246 ルータ、Cisco 7301 ルータ、および Cisco 7401 ASR ルータは、すべてのポートアダプタ タイプの活性挿抜に対応します。

現在出荷されているシングルポートの PA-H は、前面パネルの右下の隅に *Rev. B* と記したラベルがあります (図 1-1 を参照)。旧モデルの PA-H には、*Rev. B* のラベルはありません (図 1-2 を参照)。

図 1-2 旧モデルの PA-H (Rev. B より前) — 前面パネル



現在搭載されている PA-H モデルを判別するには、前面パネルのラベルを確認するか、または **show diag** コマンドを使用します (**show diag** コマンドの使用方法については、第 4 章「PA-H の設定」を参照してください)。



(注)

旧モデルの PA-H Port Adapter は、新しい PA-H Rev. B Port Adapter に交換する必要があります。交換手順については、シスコの TAC にお問い合わせください

インターフェイスの仕様

PA-H は、HSSI に関する BABT/TC/130 および EIA/TIA-612 と EIA/TIA-613 標準に適合しています。PA-H 上にはインターフェイスが 1 つあり、このインターフェイスは最大 52 Mbps (メガビット/秒) でデータを送受信する全二重の HSSI を提供します。

EIA/TIA 612 または 613 に標準化された HSSI は、T3 (45 Mbps)、E3 (34 Mbps)、および SONET STS-1 (51.82 Mbps) の速度でアクセスします。インターフェイスの実際の転送速度は、外部 Data Service Unit (DSU; データ サービス ユニット)、および接続先サービスのタイプによって異なります。

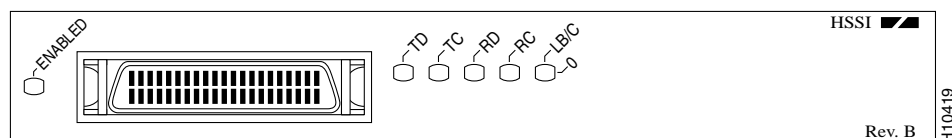
PA-H 上の HSSI ポートは、メス 50 ピン SCSI-II タイプ レセプタクルです。このインターフェイスと外部 DSU との接続には、HSSI インターフェイス ケーブルを使用する必要があります。HSSI ケーブルについては、「[ケーブル、コネクタ、およびピン割り当て](#)」(p.1-5) を参照してください。

PA-H は、16 ビットおよび 32 ビットの Cyclic Redundancy Check (CRC; 巡回冗長検査) をサポートします。デフォルトは 16 ビット CRC です。32 ビット CRC をイネーブルにするには、コンフィギュレーション コマンドを使用します (CRC 機能の詳細については、[第 4 章「PA-H の設定](#)」を参照してください)。

LED

PA-H には、一列に並んだ 5 つのステータス LED (TD、TC、RD、RC、LB/C) と 1 つの ENABLED LED があります (図 1-3 および 表 1-1 を参照)。

図 1-3 PA-H の LED — 前面図



システムの初期設定が終了すると、ENABLED LED が点灯し、ポートアダプタが動作可能になったことを示します。

PA-H が使用可能になるには、次の条件が満たされていなければなりません。

- PA-H が正しく接続され、電力が供給されていること
- PA-H 用の有効なシステム ソフトウェア イメージが正常にダウンロードされていること
- システムが PA-H、または PA-H が搭載されている VIP、または Catalyst RSM/VIP2 を認識していること

上記のいずれかの条件が満たされていない場合、または他の理由で正しく初期設定できなかった場合には、ENABLED LED は点灯しません。

表 1-1 PA-H のポート LED

LED のラベル	カラー	ステート	機能
ENABLED	グリーン	点灯	ポートアダプタは動作可能です。
TD	グリーン	点灯	DTE — 送信データアウト DCE — 送信データイン
TC	グリーン	点灯	DTE — 送信クロックイン DCE — 送信クロックイン (TXCE)
RD	グリーン	点灯	DTE — 受信データイン DCE — 受信データアウト
RC	グリーン	点灯	DTE — 受信クロックイン DCE — 受信クロックアウト
LB/CD	グリーン	点灯	DTR、DSR、RTS、CTS、または DCD がアクティブです。
	グリーン	明滅	RTS、CTS、または DCD が半二重モードでデータを送受信しています。
	イエロー	点灯	ローカルループまたは内部ループがアクティブです。

ケーブル、コネクタ、およびピン割り当て

PA-H には、2 種類のケーブルを使用することができます。ルータを外部 DSU（および HSSI ネットワーク）に接続する場合は、HSSI インターフェイス ケーブルを使用します。また、ヌル モデム ケーブルを使用すると、2 台のルータをバックツーバックで接続できます。どちらの HSSI ケーブルも、シスコシステムズ以外からはお求めになれません。また、どちらも EIA/TIA-612 および EIA/TIA-613 仕様に適合しています。

HSSI インターフェイス ケーブル

HSSI ケーブル（CAB-HS11）は、PA-H を外部 DSU に接続します。HSSI ケーブルの長さは、10 フィート（3.05 m）です。HSSI ケーブルの許容最大長は、50 フィート（15.24 m）です。図 1-4 に、HSSI ケーブルおよび、このケーブルの両端に使用されている 50 ピン コネクタを示します。接続方法については、第 3 章「ポートアダプタの取り外しおよび取り付け」を参照してください。表 1-2 にピン割り当てを示します。

図 1-4 HSSI インターフェイス ケーブルおよびコネクタ

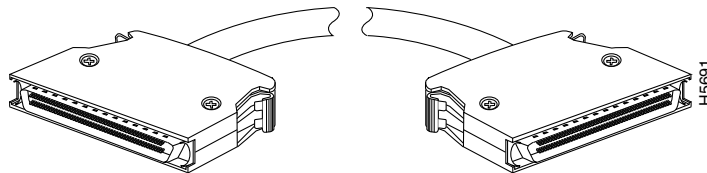


表 1-2 HSSI インターフェイス ケーブルのピン割り当て

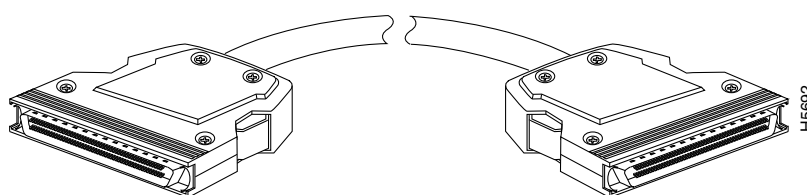
信号名	+ 側ピン番号	- 側ピン番号	方向 ¹	ルータ	DSU
SG (Signal Ground)	1	26	—		
RT (Receive Timing)	2	27	<—		
CA (DCE Available)	3	28	<—		
RD (Receive Data reserved)	4	29	<—		
LC (Loopback circuit C)	5	30	<—		
ST (Send Timing)	6	31	<—		
SG (Signal Ground)	7	32	—		
TA (DTE Available)	8	33	—>		
TT (Terminal Timing)	9	34	—>		
LA (Loopback circuit A)	10	35	—>		
SD (Send Data)	11	36	—>		
LB (Loopback circuit B)	12	37	—		
SG (Signal Ground)	13	38	—>		
5 (Ancillary to DCE)	14 ~ 18	39 ~ 43	—		
SG (Signal Ground)	19	44	<—		
5 (Ancillary from DCE)	20 ~ 24	45 ~ 49	—		
SG (Signal Ground)	25	50	—		

1. ルータは+側（DTE）です。DSUは-側（DCE）です。

HSSI ノル モデム ケーブル

ノル モデム ケーブル (CAB-HNUL) を使用すると、2 台のルータを直接、バックツーバックで接続できます。ノル モデム ケーブルの長さは、10 フィート (3.05 m) です。図 1-5 に、ノル モデム ケーブルを示します。ノル モデム ケーブルの許容最大長は、50 フィート (15.24 m) です。2 台のルータは同じ場所に設置されている必要があります。2 台の Cisco 7000 シリーズ ルータ、2 台の Cisco 7500 シリーズ ルータ、2 台の Cisco 7200 シリーズ ルータ、2 台の Cisco 7200 VXR ルータ、2 台の Cisco uBR7200 シリーズ ルータ、2 台の Cisco 7201 ルータ、2 台の Cisco 7301 ルータ、2 台の Cisco 7401 ASR ルータ、2 台の Cisco 7304 ルータ、またはこれらのいずれかを組み合わせた 2 台のルータを接続することができます。ノル モデム ケーブルを使用すると、HSSI の動作を確認したり、複数のルータを直接リンクして、より大きいノードを構築したりできます。

図 1-5 ノル モデム ケーブルおよびコネクタ



ノル モデム ケーブルは、HSSI ケーブルと同じ 50 ピン コネクタを使用し、表 1-3 に示すピン配置になっています。接続方法については、第 3 章「ポートアダプタの取り外しおよび取り付け」を参照してください。

表 1-3 HSSI ノル モデム ケーブルのピン配置

信号名	ピン番号	方向	ピン番号	信号名
RT (Receive Timing)	2、27	→	9、34	TT (Terminal Timing)
CA (DCE Available)	3、28	→	8、33	TA (DTE Available)
RD (Receive Data)	4、29	→	11、36	SD (Send Data)
LC (Loopback C)	5、30	→	10、35	LA (Loopback A)
ST (Send Timing)	6、31	→	6、31	ST (Send Timing)
TA (DTE Available)	8、33	→	3、28	CA (DCE Available)
TT (Terminal Timing)	9、34	→	2、27	RT (Receive Timing)
LA (Loopback A)	10、35	→	5、30	LC (Loopback C)
SD (Send Data)	11、36	→	4、29	RD (Receive Data)
GND (Ground)	1、26、 7、32、 13、38、 19、44、 25、50	—	1、26、 7、32、 13、38、 19、44、 25、50	GND (Ground)
Loopback (未接続)	12、37	—		
			12、37	Loopback (未接続)
未使用	14 ~ 18、 20 ~ 24、 39 ~ 43、 45 ~ 49		14 ~ 18、 20 ~ 24、 39 ~ 43、 45 ~ 49	未使用

**注意**

HSSI コネクタおよび HSSI ケーブルは、SCSI-II の形状に似ていますが、同じではありません。HSSI ケーブル仕様には、SCSI-II よりも多くの制限があります。HSSI ケーブルの代わりに SCSI-II ケーブルを使用した場合、正常な動作は保証されません。

サポート対象プラットフォームでのポートアダプタ スロットの位置

ここでは、サポート対象プラットフォームでのポートアダプタ スロットの位置について説明します。また、各プラットフォームのスロットの配置を図で示します。

- [Catalyst RSM/VIP2 のスロット番号 \(p.1-7\)](#)
- [Catalyst 6000 ファミリ FlexWAN モジュールのスロット番号 \(p.1-8\)](#)
- [Cisco 7100 シリーズ ルータのスロット番号 \(p.1-9\)](#)
- [Cisco 7200 シリーズ ルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのスロット番号 \(p.1-10\)](#)
- [Cisco uBR7200 シリーズ ルータのスロット番号 \(p.1-11\)](#)
- [Cisco 7201 ルータのスロット番号 \(p.1-12\)](#)
- [Cisco 7301 ルータのスロット番号 \(p.1-12\)](#)
- [Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードのスロット番号 \(p.1-12\)](#)
- [Cisco 7401 ASR ルータのスロット番号 \(p.1-14\)](#)
- [Cisco 7000 シリーズ ルータおよび Cisco 7500 シリーズ ルータの VIP スロット番号 \(p.1-14\)](#)

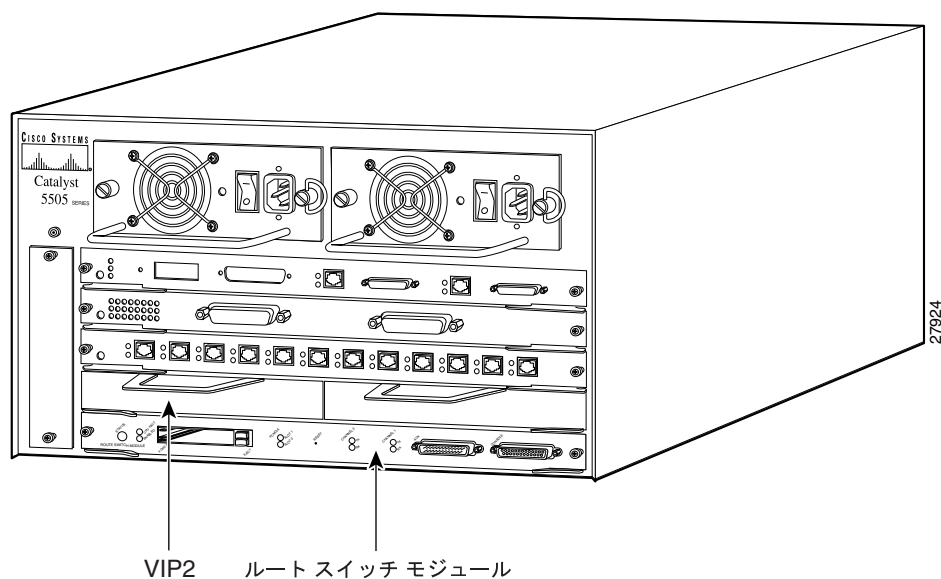
Catalyst RSM/VIP2 のスロット番号

Catalyst RSM/VIP2 は、Catalyst 5000 ファミリ スイッチの上段のスロット (スーパーバイザ エンジン モジュールを含む) を除く任意のスロットに搭載できます。Catalyst RSM/VIP2 はインターフェイス プロセッサ スロット番号を使用しません。そのため、搭載先スロットには番号が付いていません。ポートアダプタは、Catalyst RSM/VIP2 のポートアダプタ スロット 0 または 1 のどちらかに搭載できます。図 1-6 は、2 つのポートアダプタが搭載された Catalyst RSM/VIP2 を示しています。

**(注)**

Catalyst 5500 スイッチには、13 のスロットがあります。スロット 1 は、スーパーバイザ エンジン モジュール専用です。冗長スーパーバイザ エンジン モジュールを使用する場合は、スロット 2 に取り付ける必要があります。使用しない場合、スロット 2 は他のモジュールに使用できます。スロット 13 は、ATM Switch Processor (ASP; ATM スイッチ プロセッサ) モジュールの専用スロットです。Catalyst RSM/VIP2 のスロットに関するその他の制約については、『*Catalyst 5000 Series Route Switch Module Installation and Configuration Note*』を参照してください。

図 1-6 Catalyst RSM/VIP2 にポートアダプタを搭載した Catalyst 5000 ファミリ スイッチ



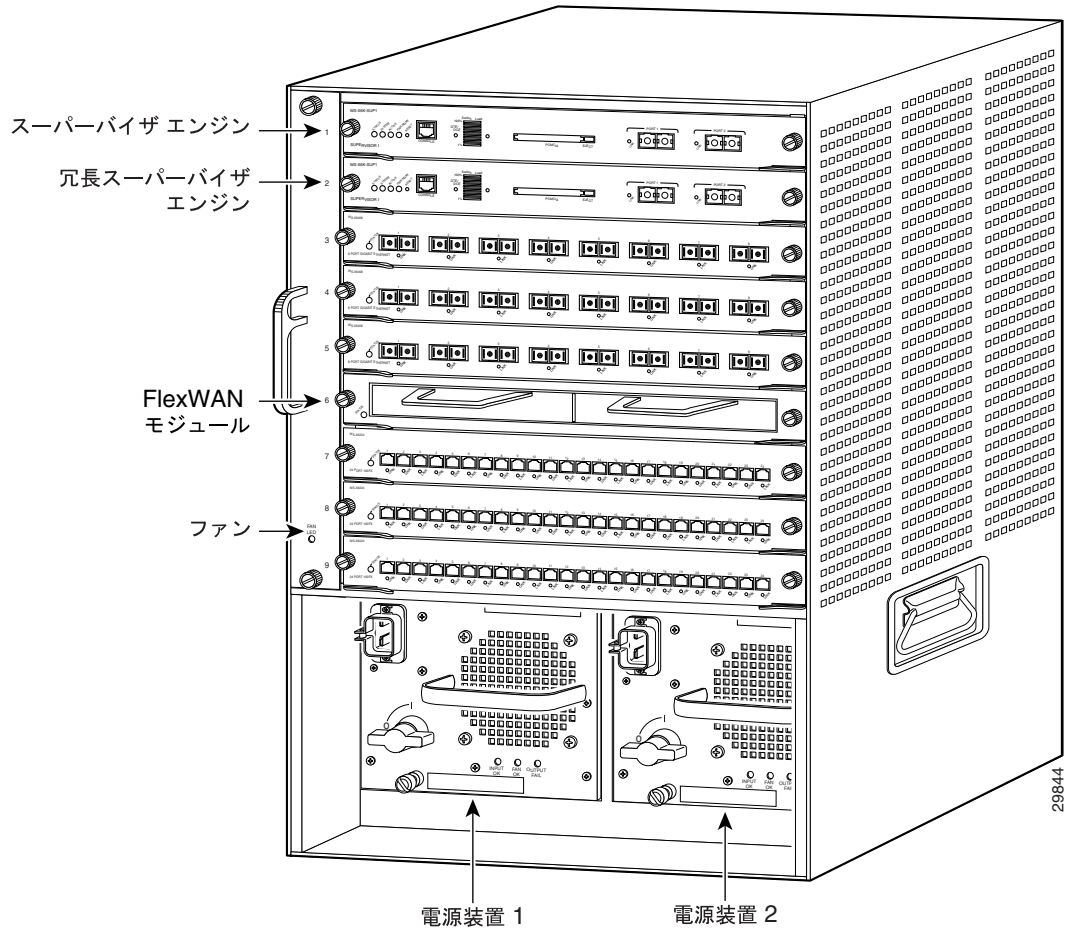
Catalyst 6000 ファミリ FlexWAN モジュールのスロット番号

Catalyst 6000 ファミリ FlexWAN モジュールは、Catalyst 6000 ファミリ スイッチのスロット 1 を除く任意のスロットに搭載できます。スロット 1 はスーパーバイザ エンジン専用です。ポートアダプタは、FlexWAN モジュール上のポートアダプタ ベイ 0 またはベイ 1 に搭載できます。図 1-7 に、ブランク ポートアダプタが 2 つ搭載された FlexWAN モジュールを示します。



(注) スロット 1 は、スーパーバイザ エンジン専用です。冗長スーパーバイザ エンジンを使用する場合は、スロット 2 に取り付けます。使用しない場合、スロット 2 は他のモジュールに使用できます。

図 1-7 FlexWAN モジュールにポート アダプタを搭載した Catalyst 6000 ファミリ スイッチ



Cisco 7100 シリーズ ルータの スロット番号

ポート アダプタは、Cisco 7120 シリーズ ルータのポート アダプタ スロット 3、および Cisco 7140 シリーズ ルータのポート アダプタ スロット 4 に搭載できます。図 1-8 に Cisco 7120 シリーズ ルータの スロット番号、図 1-9 に Cisco 7140 シリーズ ルータの スロット番号を示します。

図 1-8 Cisco 7120 シリーズ ルータのポート アダプタ スロット

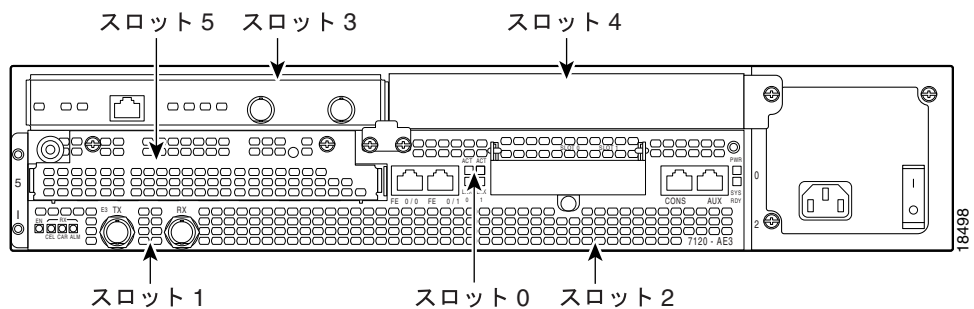
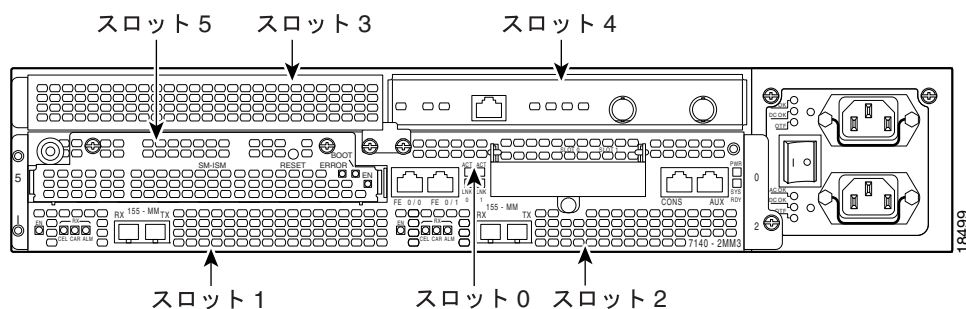


図 1-9 Cisco 7140 シリーズ ルータのポートアダプタ スロット



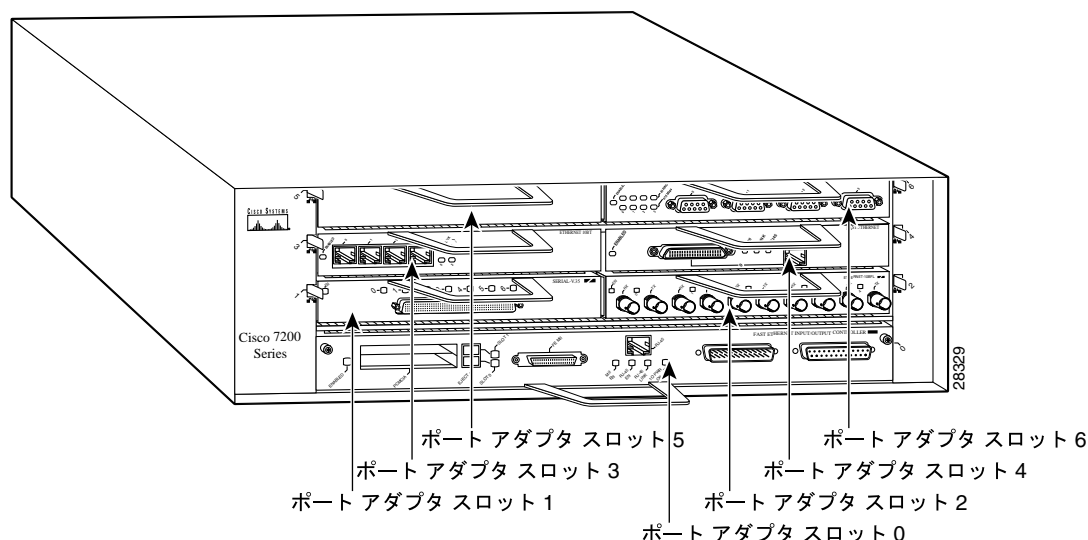
Cisco 7200 シリーズ ルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのスロット番号

Cisco 7202 ルータには、ポートアダプタ スロットが2つあります。スロットは、左から右へ番号が付けられています。ポートアダプタは、どちらのスロット（スロット 1 またはスロット 2）にも取り付けることができます。Cisco 7202 ルータの図はありません。

Cisco 7204 ルータおよび Cisco 7204 VXR ルータには、ポートアダプタ用スロットが4つ、I/O コントローラ用スロットが1つあります。スロット番号は、左下から右上へスロット 1 からスロット 4 まで番号が付けられています。ポートアダプタは、どのスロット（スロット 1～4）にも取り付けることができます。スロット 0 は常に I/O コントローラ専用です。Cisco 7204 ルータおよび Cisco 7204 VXR ルータの図はありません。

Cisco 7206 ルータおよび Cisco 7206 VXR ルータ (Cisco AS5800 ユニバーサルアクセス サーバにルータ シェルフとして搭載された Cisco 7206 ルータおよび Cisco 7206 VXR ルータを含む) には、ポートアダプタ用スロットが6つ、I/O コントローラ用スロットが1つあります。スロット番号は、左下から右上へスロット 1 からスロット 6 まで番号が付けられています。ポートアダプタは、6つのスロットのうち、任意のスロット（スロット 1～6）に取り付けることができます。スロット 0 は常に I/O コントローラ専用です。図 1-10 に Cisco 7206 ルータのスロット番号を示します。Cisco 7206 VXR ルータの図はありません。

図 1-10 Cisco 7206 ルータのポートアダプタ スロット

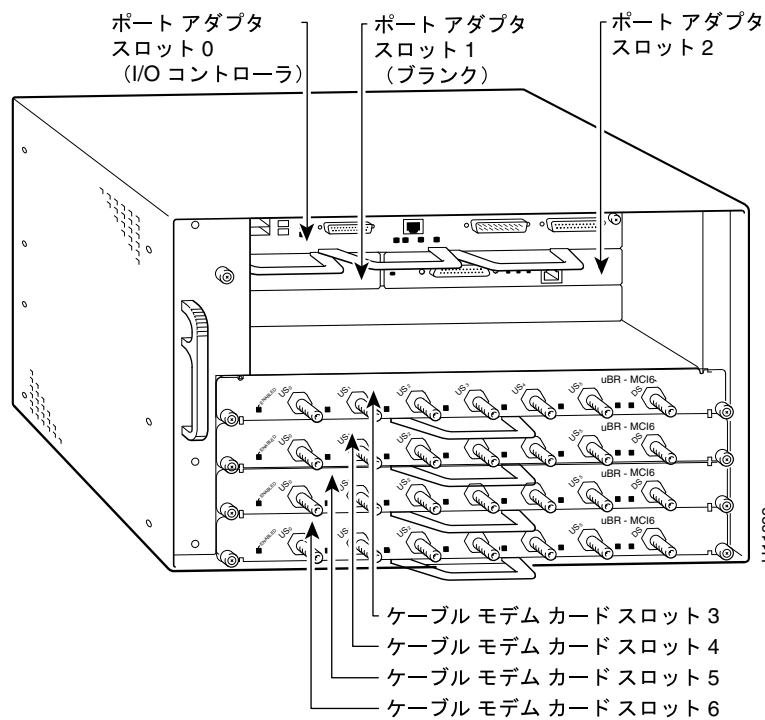


Cisco uBR7200 シリーズ ルータのポートアダプタ スロット番号

Cisco uBR7223 ルータには、ポートアダプタ スロットが1つあります (スロット1)。スロット0は常に I/O コントローラ専用です (使用する場合)。Cisco uBR7223 ルータの図はありません。

Cisco uBR7246 ルータおよび Cisco uBR7246VXR ルータには、ポートアダプタ スロットが2つあります (スロット1 および スロット2)。スロット0は常に I/O コントローラ専用です (使用する場合)。図 1-11 に Cisco uBR7246 ルータまたは Cisco uBR7246VXR ルータのポートアダプタのスロット番号を示します。

図 1-11 Cisco uBR7246 ルータおよび Cisco uBR7246 VXR ルータのポートアダプタ スロット

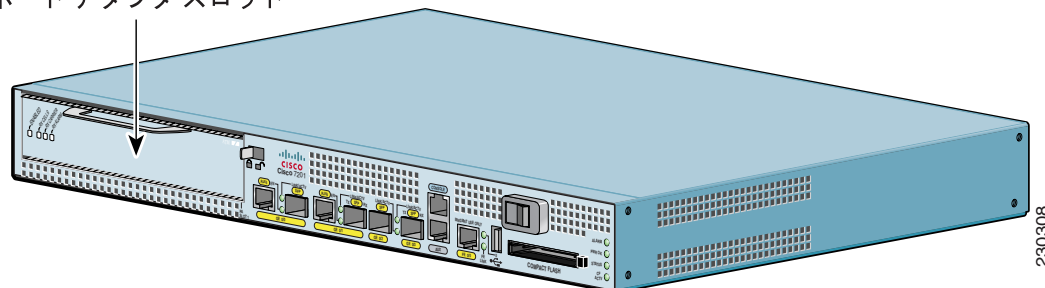


Cisco 7201 ルータのスロット番号

図 1-12 に、ポートアダプタを搭載した Cisco 7201 ルータの前面図を示します。Cisco 7201 ルータのポートアダプタスロットは1つだけです（スロット1）。

図 1-12 Cisco 7201 ルータのポートアダプタスロット

ポートアダプタスロット

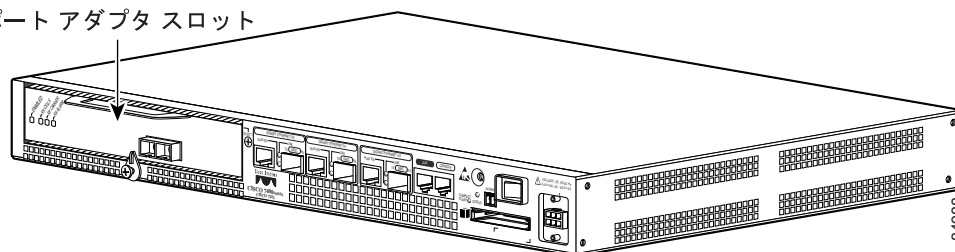


Cisco 7301 ルータのスロット番号

図 1-13 に、ポートアダプタを搭載した Cisco 7301 ルータの前面図を示します。Cisco 7301 ルータのポートアダプタスロットは1つだけです（スロット1）。

図 1-13 Cisco 7301 ルータのポートアダプタスロット

ポートアダプタスロット



Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードのスロット番号

Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードは、Cisco 7304 ルータのモジュールスロット 2～5 に取り付けます。図 1-14 に、ポートアダプタを搭載した Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードを示します。Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードには、1つのシングル幅ポートアダプタを取り付けられます。

図 1-15 に Cisco 7304 ルータのモジュールスロット番号を示します。ポートアダプタスロット番号は、モジュールスロット番号と同じです。スロット 0 およびスロット 1 は、NPE モジュールまたはNSE モジュール専用となります。

図 1-14 Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードーポートアダプタを搭載

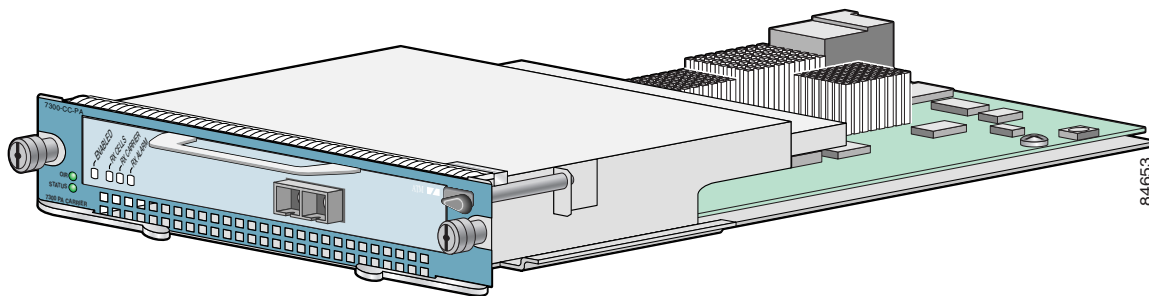
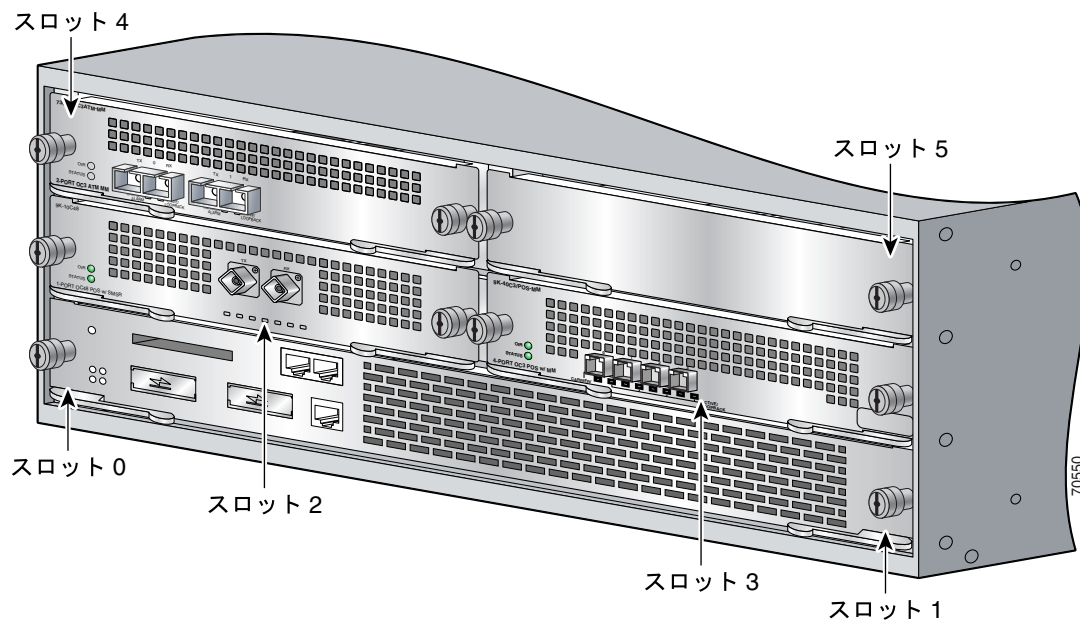


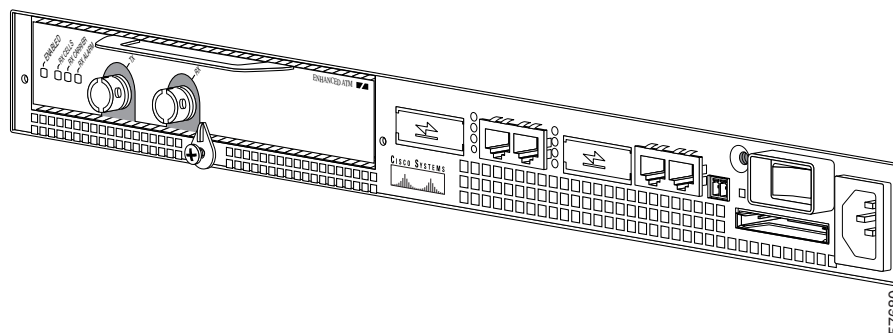
図 1-15 Cisco 7304 ルータのモジュール スロット



Cisco 7401 ASR ルータのスロット番号

図 1-16 に、ポートアダプタが搭載された Cisco 7401 ASR ルータの前面図を示します。Cisco 7401 ASR ルータのポートアダプタスロットは1つだけです（スロット1）。

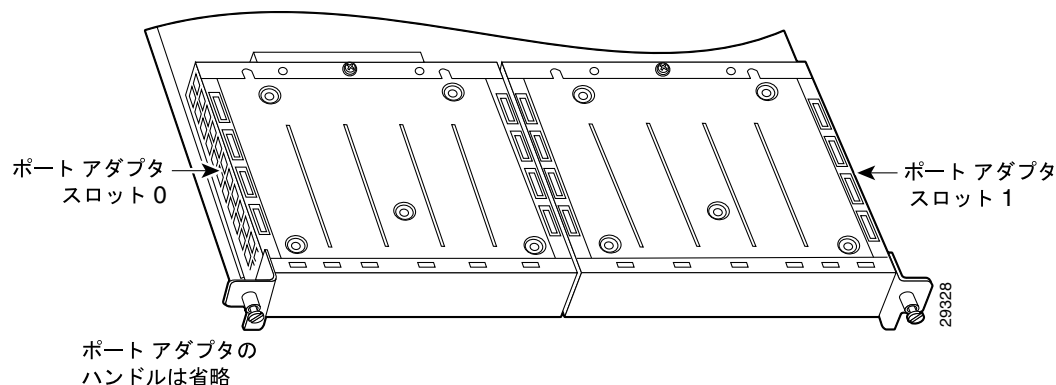
図 1-16 Cisco 7401 ASR ルータのポートアダプタスロット



Cisco 7000 シリーズ ルータおよび Cisco 7500 シリーズ ルータの VIP スロット番号

Cisco 7000 シリーズ ルータおよび Cisco 7500 シリーズ ルータで使用される Versatile Interface Processor (VIP) は、ポートアダプタをサポートしています。Cisco 7010 ルータおよび Cisco 7505 ルータでは、VIP マザーボードを VIP スロットに水平方向に搭載します。Cisco 7507 ルータおよび Cisco 7513 ルータでは、VIP マザーボードを VIP スロットに垂直方向に搭載します。ポートアダプタは、VIP のどちらのベイ（ポートアダプタスロット0または1）にも取り付けることができます。VIP 上のベイは左から右へ番号が付けられています。図 1-17 に、VIP のスロット番号を示します。

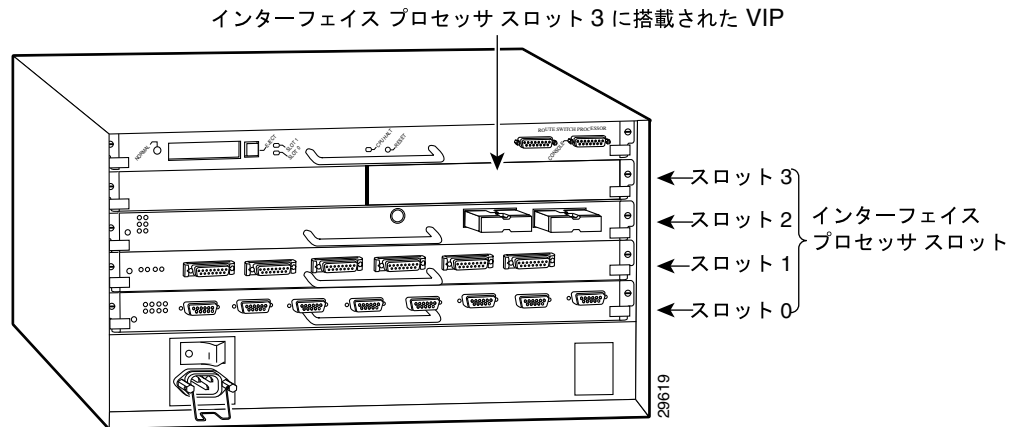
図 1-17 VIP スロットの位置



Cisco 7010 ルータには、ポートアダプタ用のスロットが3つ、Route Switch Processor (RSP ; ルートスイッチプロセッサ) 用のスロットが2つあります。スロットは、下から上へ番号が付けられています。ポートアダプタは、どのVIP インターフェイススロット（スロット0～2）にも取り付けることができます。スロット3およびスロット4は常にRSP専用です。Cisco 7010 ルータの図はありません。

Cisco 7505 ルータには、ポートアダプタ用のスロットが4つ、RSP用のスロットが1つあります。スロットは、下から上へ番号が付けられています。ポートアダプタは、どのVIP インターフェイススロット（スロット0～3）にも取り付けることができます。1つのスロットは、常にRSP専用です。図1-18にCisco 7505 ルータのスロット番号を示します。

図 1-18 Cisco 7505 ルータのVIP スロット



Cisco 7507 ルータには、ポートアダプタ用のスロットが5つ、RSP用のスロットが2つあります。スロットは、左から右へ番号が付けられています。ポートアダプタは、どのVIP インターフェイススロット（スロット0、1、4、5、または6）にも取り付けることができます。スロット2およびスロット3は常にRSP専用です。Cisco 7507 ルータの図はありません。

Cisco 7513 ルータには、ポートアダプタ用のスロットが11、RSP用のスロットが2つあります。スロットは、左から右へ番号が付けられています。ポートアダプタは、どのVIP インターフェイススロット（スロット0～5、またはスロット9～12）にも取り付けることができます。スロット6およびスロット7は常にRSP専用です。Cisco 7513 ルータの図はありません。

インターフェイスアドレスの識別

ここでは、サポート対象プラットフォームで PA-H のインターフェイスアドレスを識別する方法について説明します。インターフェイスアドレスは、ルータまたはスイッチ上の各インターフェイスの物理位置を示します。

ルータに搭載された PA-H のインターフェイスは、他のポートアダプタの取り付けまたは取り外しに関係なく、常に同じアドレスを維持します。ただし、ポートアダプタを別のスロットに移動した場合は、インターフェイスアドレスの最初の数値が新しいポートアダプタスロット番号に変わります。

VIP または FlexWAN モジュールに搭載された PA-H のインターフェイスは、他のインターフェイスプロセッサまたはモジュールの取り付けまたは取り外しに関係なく、常に同じアドレスを維持します。ただし、VIP または FlexWAN モジュールを別のスロットに移動した場合は、インターフェイスプロセッサまたはモジュールスロットの数値が新規インターフェイスプロセッサまたはモジュールスロットに変わります。



(注)

インターフェイスポートの番号は 0 から始まり、左から右に付けられています。

ここでは、サポート対象プラットフォームのインターフェイスアドレスのフォーマットについて説明します。

- [Catalyst RSM/VIP2 のインターフェイスアドレス \(p.1-18\)](#)
- [Catalyst 6000 ファミリー FlexWAN モジュールのインターフェイスアドレス \(p.1-18\)](#)
- [Cisco 7120 ルータおよび Cisco 7140 ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-18\)](#)
- [Cisco 7200 シリーズルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-19\)](#)
- [Cisco uBR7200 シリーズルータのインターフェイスアドレス \(p.1-19\)](#)
- [Cisco 7201 ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-19\)](#)
- [Cisco 7301 ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-19\)](#)
- [Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードのインターフェイスアドレス \(p.1-20\)](#)
- [Cisco 7401 ASR ルータのインターフェイスアドレス \(p.1-20\)](#)
- [Cisco 7000 シリーズルータおよび Cisco 7500 シリーズルータの VIP インターフェイスアドレス \(p.1-20\)](#)

表 1-4 にサポート対象ルータのインターフェイスアドレスのフォーマットを示します。

表 1-4 インターフェイスアドレスの識別

プラットフォーム	インターフェイスアドレスのフォーマット	番号	構文
Catalyst RSM/VIP2 を搭載した Catalyst 5000 ファミリスイッチ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 0 または 1 インターフェイスポート — 0	0/0
Catalyst 6000 ファミリ FlexWAN モジュールを搭載した Catalyst 6000 ファミリスイッチ	モジュールスロット番号 / ポートアダプタベイ番号 / インターフェイスポート番号	モジュールスロット — 2 ~ 13 (スイッチのスロット数による) ¹ ポートアダプタベイ — 0 または 1 インターフェイスポート — 0	3/0/0
Cisco 7120 シリーズ ルータ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 常に 3 インターフェイスポート — 0	3/0
Cisco 7140 シリーズ ルータ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 常に 4 インターフェイスポート — 0	4/0
Cisco 7200 シリーズ ルータ および Cisco 7200 VXR ルータ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 1 ~ 6 (ルータのスロット数による) ² インターフェイスポート — 0	1/0
Cisco 7201 ルータ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 常に 1 インターフェイスポート — 0	1/0
Cisco uBR7223 ルータ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 常に 1 ² インターフェイスポート — 0	1/0
Cisco uBR7246 および Cisco uBR7246 VXR ルータ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 1 または 2 ² インターフェイスポート — 0	1/0
Cisco 7301 ルータ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 常に 1 インターフェイスポート — 0	1/0
Cisco 7304 ルータに搭載の Cisco 7304 PCI ポートアダプタキャリアカード	モジュールスロット番号 / インターフェイスポート番号	モジュールスロット — 2 ~ 5 インターフェイスポート — 0	3/0
Cisco 7401 ASR ルータ	ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	ポートアダプタスロット — 常に 1 インターフェイスポート — 0	1/0
Cisco 7000 シリーズ ルータ および Cisco 7500 シリーズ ルータに搭載の VIP	インターフェイスプロセッサスロット番号 / ポートアダプタスロット番号 / インターフェイスポート番号	インターフェイスプロセッサスロット — 0 ~ 12 (ルータのスロット数による) ポートアダプタスロット — 0 または 1 インターフェイスポート — 0	3/1/0

1. スロット 1 は、スーパーバイザエンジン専用です。冗長スーパーバイザエンジンを使用する場合は、スロット 2 に取り付ける必要があります。使用しない場合、スロット 2 は他のモジュールに使用できます。
2. ポートアダプタスロット 0 は、I/O コントローラ (使用する場合) のファストイーサネットポート専用です。

Catalyst RSM/VIP2 のインターフェイス アドレス

Catalyst RSM/VIP2 は、Catalyst 5000 ファミリ スイッチの上段のスロット（スーパーバイザ エンジン モジュールを含む）を除く任意のスロットに搭載できます。Catalyst 5000 ファミリ スイッチに搭載される Catalyst RSM/VIP2 は、インターフェイス プロセッサ スロット番号を使用しません。そのため、搭載先スロットには番号が付いていません。ポート アダプタは、Catalyst RSM/VIP2 のポート アダプタ スロット 0 またはスロット 1 に搭載できます（図 1-6 を参照）。

インターフェイス アドレスは 2 つの番号で構成され、フォーマットは、ポート アダプタ スロット 番号/インターフェイス ポート番号です（表 1-4 を参照）。たとえば、Catalyst 5000 ファミリ スイッチに搭載された Catalyst RSM/VIP2 のポート アダプタ スロット 1 にシングルポートの PA-H が取り付けられる場合、インターフェイス アドレスは 1/0 です。

Catalyst 6000 ファミリ FlexWAN モジュールのインターフェイス アドレス

Catalyst 6000 ファミリ スイッチでは、Catalyst 6000 ファミリ FlexWAN モジュールをモジュール スロット 2～13（ルータのスロット数による）に搭載できます。スロット 1 は、スーパーバイザ エンジン専用です。ポート アダプタは、FlexWAN モジュールのポート アダプタ ベイ 0 またはベイ 1 に搭載できます（図 1-7 を参照）。

インターフェイス アドレスは、3 つの番号で構成され、フォーマットは、モジュール番号/ポート アダプタ ベイ番号/インターフェイス ポート番号です（表 1-4 を参照）。

最初の番号は、FlexWAN モジュールが搭載されているシャーシのモジュール スロット（シャーシのスロット数によりスロット 2～3、6、9、または 13）を識別します。これらのモジュール スロットは、1 から始まり、通常は上から下へ番号が付けられています。

2 番めの番号は、ポート アダプタが取り付けられている FlexWAN モジュールのベイ（0 または 1）を識別します。FlexWAN モジュールのベイは、左から右へ番号が付けられています。

3 番めの番号は、ポート アダプタの物理ポート番号を識別します。PA-H はシングルポートのポート アダプタであるため、ポートは常に 0 です。

たとえば、FlexWAN モジュールがモジュール スロット 3 に搭載されている場合、ポート アダプタのインターフェイス アドレスは、3/0/0（モジュール スロット 3、ポート アダプタ ベイ 0、およびインターフェイス 0）です。ポート アダプタが FlexWAN モジュールのポート アダプタ ベイ 1 にある場合、同じインターフェイス アドレスが 3/1/0 になります。ポート アダプタが取り付けられている FlexWAN モジュールをモジュール スロット 3 から取り外して、モジュール スロット 6 に搭載すると、インターフェイス アドレスは 6/0/0 になります。



(注)

FlexWAN モジュールの物理ポート アドレスは、従来から使用されている Catalyst 6000 ファミリのポート アドレス（1～）と異なり、0 から開始します。

Cisco 7120 ルータおよび Cisco 7140 ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7120 シリーズルータでは、ポート アダプタ スロット 3 にポート アダプタを搭載します（図 1-8 を参照）。Cisco 7140 シリーズルータでは、ポート アダプタ スロット 4 にポート アダプタを搭載します（図 1-9 を参照）。

インターフェイス アドレスは、2 つの番号で構成され、フォーマットは、ポート アダプタ スロット 番号/インターフェイス ポート番号です（表 1-4 を参照）。たとえば、シングルポートの PA-H が Cisco 7120 ルータに搭載されている場合、インターフェイス アドレスは 3/0 です。シングルポートの PA-H が Cisco 7140 ルータに搭載されている場合、インターフェイス アドレスは 4/0 になります。

Cisco 7200 シリーズ ルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7200 シリーズ ルータおよび Cisco 7200 VXR ルータのポートアダプタ スロットは、左下から右上へ番号が付けられています。スロット 1 から始まり、Cisco 7202 の場合はスロット 2 まで、Cisco 7204 および Cisco 7204 VXR の場合はスロット 4 まで、Cisco 7206 および Cisco 7206 VXR の場合はスロット 6 までです。ポートアダプタは、1～6（ルータのスロット数による）の使用可能な任意のポートアダプタ スロットに取り付けることができます（スロット 0 は常に I/O コントローラ専用です）。[図 1-10](#) を参照してください。

インターフェイスアドレスは、2つの番号で構成され、フォーマットは、*ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号*です（[表 1-4](#) を参照）。たとえば、シングルポートの PA-H が Cisco 7200 シリーズ ルータのスロット 1 に搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 です。シングルポートの PA-H がスロット 4 に搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 4/0 になります。

Cisco uBR7200 シリーズ ルータのインターフェイス アドレス

Cisco uBR7223 ルータでは、ポートアダプタを搭載できるスロットは1つだけであり、番号はスロット 1 です。

Cisco uBR7246 ルータおよび Cisco uBR7246VXR ルータでは、2つのポートアダプタ スロット（スロット 1 およびスロット 2）にポートアダプタを搭載できます。スロット 0 は常に I/O コントローラ専用です（使用する場合）。[図 1-11](#) を参照してください。

インターフェイスアドレスは、2つの番号で構成され、フォーマットは、*ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号*です（[表 1-4](#) を参照）。たとえば、シングルポートの PA-H が Cisco uBR7223 シリーズ ルータのスロット 1 に搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 です。シングルポートの PA-H が Cisco uBR7246 または Cisco uBR7246VXR ルータのスロット 2 に搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 2/0 になります。

Cisco 7201 ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7201 ルータでは、ポートアダプタを搭載できるスロットは1つだけであり、番号はスロット 1 です（[図 1-12](#) を参照）。

インターフェイスアドレスは、2つの番号で構成され、フォーマットは、*ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号*です（[表 1-4](#) を参照）。たとえば、シングルポートの PA-H が Cisco 7201 ルータに搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 です。

Cisco 7301 ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7301 ルータでは、ポートアダプタを搭載できるスロットは1つだけであり、番号はスロット 1 です（[図 1-13](#) を参照）。

インターフェイスアドレスは、2つの番号で構成され、フォーマットは、*ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号*です（[表 1-4](#) を参照）。たとえば、シングルポートの PA-H が Cisco 7301 ルータに搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 です。

Cisco 7304 PCI ポート アダプタ キャリア カードのインターフェイス アドレス

Cisco 7304 ルータでは、ポートアダプタを取り付けた Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードを Cisco 7304 ルータ モジュール スロット 2～5 に搭載できます。ポートアダプタ スロット番号は、モジュール スロット番号と同じです (図 1-15 を参照)。

インターフェイスアドレスは、2つの番号で構成され、フォーマットは、モジュールスロット番号/インターフェイスポート番号です (表 1-4 を参照)。たとえば、シングルポートの PA-H を取り付けた Cisco 7304 PCI ポートアダプタ キャリアカードが Cisco 7304 ルータ モジュールスロット 3 に搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 3/0 です。

Cisco 7401 ASR ルータのインターフェイス アドレス

Cisco 7401 ASR ルータでは、ポートアダプタを搭載できるスロットは1つだけであり、番号はスロット 1 です (図 1-16 を参照)。

インターフェイスアドレスは、2つの番号で構成され、フォーマットは、ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号です (表 1-4 を参照)。たとえば、シングルポートの PA-H が Cisco 7401 ASR ルータに搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 1/0 です。

Cisco 7000 シリーズ ルータおよび Cisco 7500 シリーズ ルータの VIP インターフェイス アドレス

Cisco 7000 シリーズ ルータおよび Cisco 7500 シリーズ ルータでは、ポートアダプタを取り付けた VIP をインターフェイスプロセッサスロット 0～12 (ルータのスロット数による) に搭載できます。ポートアダプタは、VIP のどちらのベイ (ポートアダプタスロット 0 または 1) にも取り付けることができます (図 1-17 および 図 1-18 を参照)。

VIP のインターフェイスアドレスは3つの番号で構成され、フォーマットは、インターフェイスプロセッサスロット番号/ポートアダプタスロット番号/インターフェイスポート番号です (表 1-4 を参照)。

最初の番号は、VIP が搭載されているスロット (スロット 0～12、ルータのスロット数による) を識別します。

2番目の番号は、ポートアダプタが取り付けられている VIP のベイ (ポートアダプタスロット) を識別します (0 または 1)。VIP のベイは、左から右へ番号が付けられています。

3番目の番号は、ポートアダプタの物理ポート番号 (インターフェイスポート番号) を識別します。ポート番号は常に 0 から始まり、左から右へ番号が付けられています。追加できるポート数は、ポートアダプタのポート数によって異なります。PA-H はシングルポートのポートアダプタであるため、ポートは常に 0 です。

たとえば、シングルポートの PA-H を取り付けた VIP がインターフェイスプロセッサスロット 1 に搭載されている場合、インターフェイスアドレスは 3/1/0 です。PA-H が VIP のポートアダプタスロット 0 にある場合、同じインターフェイスアドレスが 3/0/0 になります。



(注)

プロセッサスロットは、7スロットの Cisco 7507 および 13スロットの Cisco 7513 シャーシでは垂直方向ですが、5スロットの Cisco 7010 および Cisco 7505 シャーシでは水平方向です。スロットおよびポートの番号の付け方は、すべての Cisco 7500 シリーズルータで共通です。